

OM SYSTEM

E-M1 Mark III ASTRO

取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に、本紙を必ずご確認ください。

E-M1 Mark III ASTRO は「天体撮影専用カメラ」です。E-M1 Mark III に比べ、H α 線（波長656nm）の透過率を大幅に向上させているため、天体以外の一般的な被写体の撮影時は実際よりも赤みがかかった画像となります。ワンタッチホワイトバランスを使用することで自然な色味に近づけることができますが、適切なカラーバランスが得られないことがあるため、**一般的な被写体の撮影はおすすめできません。**

基本的な操作方法は E-M1 Mark III と共通です。「E-M1 Mark III 取扱説明書」を参照してください。

カスタムモードC1、C2 には天体撮影に便利な機能や、自然な天体撮影画像が得られるようホワイトバランスやトーンカーブの設定もプリセットされています。特に、カスタムモードC1には手持ちハイレゾショットが設定されており、カメラを三脚や赤道儀に固定した状態で使用することにより、天体写真における「スタッキング処理」をカメラ内でワンショットで行うことが可能です。これにより高精細化とノイズの低減を実現します。

カスタムモードC1、C2の設定は被写体や撮影者の好みに合わせ変更/上書き保存することも可能です。初期設定に戻す場合は [リセット/カスタム設定] の [リセット] で [フル] を実行してください。

E-M1 Mark III との相違点について

- レンズリセット設定： 初期設定は Off になっています。
※ 電源をオフにしてもフォーカス位置はリセットされませんが、温度等の環境変化によりピント位置が変わることがあるので、撮影の都度ピントの確認を行うことをおすすめします。
- EVF自動切換設定： 初期設定は On2 になっています。
- Fnレバー設定： 初期設定は 静止画/動画とも Mode1 になっています。
- 手持ちハイレゾショットのレリーズ待機時間の設定： 上限が30秒になっています。
- カスタムモード C1、C2 の設定： 本紙の裏面をご参照ください。




便利なアクセサリー ボディーマウントフィルター

「E-M1 Mark III ASTRO ボディーマウントフィルターセット」に付属しています。カメラのボディーマウント部付近に装着して使用するフィルターです。フィルターに付属の取扱説明書に記載してある注意事項をご確認の上、ご使用ください。

- **ボディーマウント光害カットフィルター BMF-LPC01**
街明かりや街灯などの人工光源による光をカットします。夜空に色かぶりが生じるのを防いで星雲や星座本来の美しさをより鮮やかに写す効果があります。
- **ボディーマウントソフトフィルター BMF-SE01**
光を拡散することで点光源をにじませ星を強調する効果があります。輝きの強い星ほどにじんで大きく写り、色も強調されるため、星や星座を際立たせた写真を撮ることができます。

※ ボディーマウントフィルターは2つ同時に装着できません。
※ 焦点距離が短いレンズの場合、周辺の像が流れる場合があります。

撮影のヒント

- カメラの設置
 - ・ 三脚や赤道儀に設置することをおすすめします。
- フレーミング
 - ・ LVブーストを On2 にすると星空や地上風景が明るく見えるためフレーミングがしやすくなります。LVブースト On/Off の切り替えは、カスタムモードC1、C2の初期設定では「ムービーボタン 」に割り当てられています。
- フォーカス
 - ・ 星へのピント合わせは星空AFを使うと便利です。カスタムモードC1、C2の初期設定では「AEL/AFL ボタン」を押すと、星空AFを開始します。
 - ・ マニュアルフォーカス時には拡大表示をすることでピント合わせが容易になります。拡大表示 On/Off の切り替えは、カスタムモードC1、C2の初期設定では「露出補正ボタン 」に割り当てられています。
 - ・ マニュアルフォーカス時にはLVブーストは Off に切り替えることをおすすめします。On2ではフレームレートが遅くピント合わせが困難になるためです。
- フォーカスリングロック
 - ・ ピントを合わせ終わったら、誤ってピントがずれないようにフォーカスリングロックをしてレンズのフォーカスリング操作を無効にしておくことをおすすめします。フォーカスリングロック On/Off の切り替えは、カスタムモードC1、C2の初期設定では背面の「ISOボタン 」に割り当てられています。
- 撮影待機時間
 - ・ レリーズによるブレを避けるために、シャッターボタンを全押ししてからシャッターが切れるまでの撮影待機時間を設定することをおすすめします。カスタムモードC1では4秒、C2では1秒が初期設定されています。
- モニター輝度設定
 - ・ 暗所撮影時の視認性のため、モニター輝度を暗く設定しておくことをおすすめします。カスタムモードC1、C2では、モニター輝度は-7 に初期設定されています。

OM SYSTEM ゼミ 取説動画

https://note.com/omsystem_events/m/m899dec966327

E-M1 Mark III ASTRO の使い方を説明した動画をご参照ください。



最新サポート情報

<https://support.jp.omsystem.com/jp/support/cs/dslr/index.html>

アクセサリー対応情報やよくあるご質問(Q&A)、各種最新情報はQRコードよりご確認ください。



カスタムモード C1、C2 初期設定

※ カスタムモードC1では手持ちハイレゾショットが設定されており撮影時間が長くなります。お好みの写りになるようなピント・露出等の撮影条件を事前に決めてから撮影を開始してください。

※ 各設定は被写体や撮影者の好みに合わせ変更/上書き保存することが可能です。

設定項目		C1	C2	補足
基本設定	記録画質モード	[50M]F + RAW	[L]SF + RAW	
	撮影モード	M (マニュアル) モード		
	絞り/シャッター速度 ISO	F2 / 30秒* ISO 1600	F1.2 / 4秒 ISO 6400	レンズの開放F値が左記よりも暗いレンズの場合、レンズの開放F値が初期設定されます。 *カスタムモードC1は手持ちハイレゾショットが設定されており、1回のレリーズで16枚の撮影を行うため撮影時間が長くなります。
フォーカスモード	AF方式	星空AF 精度優先	星空AF 速度優先	星空AFのターゲットサイズは「5×5」に初期設定されています。 星空AFは「AEL/AFL」ボタンを押してAF動作をスタートします。
	AF + MF	ON		ピント合わせにMFも併用できる設定になっています。
ドライブ	ドライブ	手持ちハイレゾショット	低振動モード	
	撮影待機時間	4秒	1秒	レリーズ動作のブレを防ぐため、撮影待機時間を設定しています。
手ぶれ補正		S-IS AUTO		カスタムモードC1では、手持ちハイレゾショットが設定されているため、手ぶれ補正の初期設定は自動的にS-IS AUTOになります。 カスタムモードC2では、手持ち撮影をサポートするようS-IS AUTOが初期設定されていますが、三脚や赤道儀に取りつけて撮影する場合は 手ぶれ補正をOff に設定してください。
表示	モニター調整	LVブースト On2		表示フレームレートが遅くなるため、MF時はLVブースト Offにすることをおすすめします。
		モニター輝度 -7		暗所での眼への負担を抑えるため、モニター輝度を-7に初期設定しています。 撮影画像の確認の際に画像が暗くて見にくい場合には、セットアップメニューの「モニター調整」で輝度を明るくしてください。
	ガイド線表示色	プリセット1: R 200 / G 0 / B 0 / a (不透明度) 60		構図を決める際のガイド線が暗所でも見えやすいよう、「ガイド線表示色」メニューのプリセット1で赤色の野線色に設定してあります。
ボタン割り当て	拡大表示	露出補正ボタン  に割り当て		マニュアルフォーカス時やピント確認時の画面拡大にご使用ください。
	LVブースト切り換え (On/Off 設定)	ムービーボタン  に割り当て		構図を合わせる際にはONにし、マニュアルフォーカス時にはOFFにする、などの切り替えの際にご使用ください。
	フォーカスリングロック	ISOボタン  に割り当て		合焦後にこのボタンを押してフォーカスリングロックすることで、不用意にフォーカスリングに触れてピントがズれてしまうことを防ぐことができます。
画像調整	ホワイトバランス	カスタムホワイトバランス: 3000K ホワイトバランス補正: G方向 +2		星空が自然な色味に写るホワイトバランスや、天体写真に適したトーンカーブなどが初期設定されています。 写真の仕上がりは、被写体や構図、夜空の明るさなどによっても影響されます。 撮影状況に応じて、またお好みに合わせてパラメータの調整を行ってください。
	ハイライト&シャドウコントロール	ハイライト +3 / 中間 -3 / シャドウ 0		
	シャープネス	-2		
	コントラスト	+2		